

第18回 持続的生存圏創成のためのエネルギー循環シンポジウム ーマイクロ波高度利用と先端分析化学ー

第11回 先進素材開発解析システム(ADAM)シンポジウム ーマイクロ波高度利用生存圏フラッグシップ共同研究ー

令和3年 11月2日 (火) 13:00-17:20 **オンライン(Zoom)開催**

【参加申込方法】以下のHPもしくは右のQRコードより申し込み下さい。
<https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/events/symposium-0453/>
(参加費無料。定員の上限に達した場合は登録を締め切らせて頂きます。)



プログラム

講演会：おうばくプラザ きはだホール

13:00-13:05 開会の辞 渡辺 隆司（京都大学 生存圏研究所）

13:05-13:45 「同時酵素糖化粉碎法による植物高分子の新規用途開発」
敷中 一洋（産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門）

13:45-14:25 「オールバイオマス材料リグニン充てん天然ゴムナノコンポジット
に関する研究」
池田 裕子（京都工芸繊維大学 分子化学系）

14:25-14:40 休憩

14:40-15:20 「バイオマス炭化物の機能性吸着剤としての利用」
林 順一（関西大学 環境都市工学部 エネルギー・環境工学科）

15:20-16:00 「環境汚染物質分解細菌は生存圏科学に貢献できるのか？」
渡邊 崇人（京都大学 生存圏研究所）

16:00-16:15 休憩

16:15-17:15 ミッション2関連研究ショートプレゼンテーション（予定）

17:15-17:20 講演会閉会の辞 篠原 真毅（京都大学 生存圏研究所）

主催：京都大学 生存圏研究所

問い合わせ先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所 三谷 友彦
 0774-38-3880 mitani@rish.kyoto-u.ac.jp